

図書館だより



袖ヶ浦市立図書館
SODEGAURA PUBLIC LIBRARY

第45号 平成29年12月14日

袖ヶ浦市立中央図書館〒299-0262 袖ヶ浦市坂戸市場1393番地2 Tel.0438-63-4646

平成30年の干支「戌」にちなんだおすすめ本

図書館イメージキャラクター
「トショロ」



○干支にちなみ、今号では我々の良き隣人「犬」にまつわる本を紹介します。

「熊撃ち(くまうち)」 久保 俊治/著 小学館

◆請求記号 659ク (平川で所蔵)

日本唯一のヒグマハンターの著者が自らの半生を描いたノンフィクションです。鹿やヒグマを追う猟の一部始終が、息遣いまで聞こえそうな臨場感あふれる表現で活写され、迫力と面白さはピカイチ！相棒の北海道犬「フチ」との出会いと別れは胸に迫ります。

自分の猟犬の賢さを自慢したいのに、猟師仲間も自分の犬が一番！と思っているので誰にも聞いてもらえないというエピソードにちょっと笑いました。



「幻想の犬たち」

フィリップ・K・ディックほか/著 扶桑社

◆請求記号 B933ゲ (中央で所蔵)

愛犬フレンドを列車からかばい片足を切断するはめになったイーガンは、病院で入院中の少女ヤゼンカと知り合います。フレンドの言葉がわかるという彼女が伝える内容は、次々現実となり…。

ダーク・ファンタジーの鬼才キャロルの「最良の友」はじめ、現代を代表する作家達の犬にまつわるSF、ファンタジー、ホラー16編を集めたアンソロジーです。

「名画のなかの犬」

アンガス・ハイランド、ケンドラ・ウィルソン/著
エクスマレッジ

◆請求記号 723メ (長浦で所蔵)

原題は『The book of the dog』。タイトルどおり、「犬」をキーワードに、さまざまな年代の絵画を集めたオールカラーの画集です。精悍だったりとぼけた顔をしていたり、古今東西のアーティストたちによる犬の絵は見ごたえたっぷり。「人間と生きる道を選んだ犬たちの側面に光を当てている(前書きより)」とのことで、犬へのあたたかいまなざしを感じる作品ばかりです。

「ドライバー マイルズ」

ジョン・バーニンガム/作 BL出版

◆請求記号 Eバ (全館で所蔵)

マイルズは、呼ばれても来ないし、散歩もドッグフードも嫌いなやっかいな犬。マイルズが大好きなのは車で出かけること。ある日お隣のハディさんが、マイルズのために犬専用の車を作ってくれました。運転を覚えたマイルズは、飼い主の少年ノーマンとしょっちゅう秘密のドライブに行くようになります。するととっても素直な犬になって…。おはなしの続きを予感させる、ラストが気になる絵本です。のびやかな絵も素敵。

お正月企画



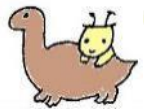
～「えほんのふくぶくろ」借りてみませんか～

新年最初の開館日である平成30年1月5日(金)から、1歳から小学生までの子どもとその保護者を対象に、「新年えほんのふくぶくろ」を実施します。(なくなり次第終了します。)

「えほんのふくぶくろ」は、図書館職員がテーマごとに選んだおすすめの本3冊を、袋詰めして貸出するものです。袋に書いてあるテーマと対象年齢をヒントに借りてみてください。どんな本が入っているかは、開けてみてのお楽しみ！思わぬ本との新しい出会いがあるかもしれません。



【どのふくろにしようかな？】



平成29年10月14日(土)から11月12日(日)の期間に、「秋のトショロ月間～読書の秋! そうだ、図書館へ行こう!～」と題して講座、サークル展示・発表、おはなし会、おすすめ本の展示など読書にちなんださまざまなイベントを行ないました。今年度もたくさんの方に参加していただきました。実施したイベントの一部を紹介します。



シャーロックアンとしても有名な翻訳家の日暮雅通氏による文芸講座「シャーロック・ホームズの魅力」。



日本の漫画の元祖といわれる絵巻を題材にした文化講演会「謎多き国宝、『鳥獣戯画』の楽しみ方」。



おすすめ本の展示『本で世界を旅しよう!』の様子。「図書館でバーチャル海外旅行」がコンセプトです。



「転ばぬ先の法律講座」。法テラスの弁護士が、遺言や相続など暮らしに役立つ法律について教えてくれました。

資料展示ボランティア始動!

中央図書館1階ラウンジでは、利用者の方に読書への興味を持ってもらうため、各回のテーマに合わせた図書資料等の展示を行なっています。

11月の月末館内整理日には、今年度から募集を開始した「資料展示ボランティア」の説明会を開催し、ボランティアの方と職員で『幕末志士の群像展 - 高杉晋作・坂本竜馬』をテーマにした資料を展示しました。中央図書館へご来館の際は、ぜひご覧になってみてください。



【ボランティアの方による資料展示設置の様子】

11月から、図書館の新たなボランティア「資料展示ボランティア」の活動がスタートしました。



中庭に出られます! (中央)

中央図書館の児童室側にドアをつくり、中庭へ自由に入出入りできるようになりました。

新たにテーブルやパラソルを設置した中庭は、読書はもちろん飲食スペースや談笑の場としても利用できます。穏やかな日、気分転換に中庭で過ごしてみたいはいかがでしょうか。



【夕方からはイルミネーション点灯中。中庭をのぞいてみてくださいね!】



本・雑誌 リユース・デー開催しました



長浦おかのうえ図書館にて、12月3日(日)に本・雑誌リユース・デー(今年度より、「除籍資料リサイクル」から事業名を変更しました。)を市内在住・在勤・在学の方を対象に開催しました。これは、内容の改訂や複本所蔵などにより、図書館で不要となり除籍した資料や保存期限を過ぎた雑誌の一部を、広く市民の皆さんに提供して資料の再活用をはかるものです。

今年度のリユース・デーは延べ358の方が来場し、約4,200冊の資料を提供しました。当日は社会福祉事業のための募金を呼びかけ、合計で40,763円の募金が寄せられました。この募金は、図書館から社会福祉法人袖ヶ浦市社会福祉協議会へと全額寄付し、有効に活用させていただきます。皆様のご協力、誠にありがとうございました。

また、一般提供に先立ち、11月30日から12月1日まで、市内の保育所・幼稚園・小学校・放課後児童クラブ・児童館・老人ホームなどの公共施設等に対して除籍資料の再活用を呼びかけ、36団体に合計で1,306冊を提供しました。

 羽田圭介さん講演会「他者に寛容であるための読書」

市立図書館では読書普及事業の一環としてふだんは本でしか会うことのできない作家を招き、直接講演していただく「著者を囲む会」を隔年で開催しています。

今年度は、12月10日（日）に、作家の羽田圭介（はだ けいすけ）さんを講師に迎え、「他者に寛容であるための読書」というテーマでお話を伺いました。今年度は参加希望の方が非常に多く、急遽、会場を中央図書館から長浦おかのうえ図書館に変更し、定員を大幅に拡大しての開催となりました。ご迷惑おかけいたしました、ご協力ありがとうございました。

講演会当日は135の方が参加され、羽田さんの近況や今までの読書体験、純文学を執筆する理由や読書をする意味など、貴重なお話を聞くことができました。



児童・生徒のみなさんが本の紹介をしてくれました！

図書館では、子どもの読書活動推進のため、おはなし会ボランティアと協力しての市内の保育所・小中学校での出張おはなし会や、近隣中学校の職場体験学習の受入れなど、各学校・保育所等と連携したさまざまな事業を行なっています。

今年度は、夏と秋の約1ヶ月間ずつ図書館で開催している「トショロ月間」の中などで、市内の小中学校・袖ヶ浦高校のみなさんにご協力いただき、児童・生徒の皆さんに選んでもらったおすすめ本の展示も行ないましたので、その様子を紹介します。

同年代の仲間、先輩たちの選んだおすすめ図書の展示コーナーは、図書館に来る子どもたちからの反応もよく、展示された本を借りていく姿も見られました。

「昭和中学校図書委員会展示」

「夏のトショロ月間」の期間中、中央図書館の児童室の壁に、昭和中学校図書委員が選んだ12冊のおすすめ本の掲示をしました。

本の紹介のPOPや、周りの児童室の装飾も、図書委員の皆さんの手になるものです。

児童室が、賑やかで楽しい雰囲気になりました。



「根形小6年生のおすすめ本展示」

「秋のトショロ月間」の期間中、中央図書館・長浦おかのうえ図書館で、根形小学校の6年生による「名コンビ」をテーマにした本の紹介コーナーを設置しました。

生徒の皆さんが作成した、おすすめ本の紹介パンフレットを本と一緒に展示・貸出しました。



「袖ヶ浦高校図書委員のおすすめ図書の展示」

11月下旬から、中央図書館の青少年コーナーで袖ヶ浦高校図書委員によるおすすめ図書の展示を行なっています。

図書委員の皆さんに、おすすめ本をイメージしたディスプレイを作成してもらいました。平成30年3月末まで展示予定ですので、ぜひご覧ください。（展示資料は貸出できます。）



「平川中学校図書委員

& 1年生おすすめ本の展示」

「秋のトショロ月間」期間中、平川図書館で平川中学校の図書委員と1年生全員によるおすすめ本の紹介展示をしました。

一人ずつに書いてもらったおすすめ本の紹介カードは個性たっぷり、利用者にも好評でした。



ご協力いただいた児童・生徒の皆さん、ありがとうございました。





蔵書点検のお知らせ

袖ヶ浦市の図書館・図書室では、合計で約73万点の資料を所蔵しており、毎日多くの方にご利用いただいております。それらの資料の状態を点検し、なくなっている資料はないかを確認するため、2月に蔵書点検を行います。

そのため、通常の定期休館日に加え、蔵書点検作業のため、市内の図書館・図書室を順に休館させていただきます。お近くの図書館・図書室が蔵書点検中の場合は、他の図書館・図書室をご利用ください。

皆様にはたいへんご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

蔵書点検に伴う各館の休館日（特別整理期間）	
★中央図書館	2月 2日（金）～ 8日（木）
★長浦おかのうえ図書館	2月16日（金）～22日（木）
★平川図書館	2月 9日（金）
★根形公民館図書室	2月14日（水）
★平岡公民館図書室	2月15日（木）



蔵書点検とは？

蔵書点検では、資料がなくなっていないか、また実際に資料がある場所と電算上のデータが一致しているかどうかを職員全員で総点検します。期間中は、書架の整理を行なった後、資料のバーコードを手作業で1件ずつ読み込み、データと照らし合わせる作業をしています。その後、本来の場所とは違う本棚に入ってしまった資料など、あるべき場所のない資料の検索を行います。

また、蔵書点検期間中には、増加する資料を管理するため、書棚の移動や本の場所の移動、書架の清掃など、日常できない大がかりな業務もあわせて行います。

図書館・図書室の開館日



☆開館時間 中央・長浦おかのうえ・平川図書館 午前9時30分から午後6時まで（10月～3月）
根形・平岡公民館図書室 午前9時30分から午後5時まで（通年）

☆図書館の休館日

12月の休館日	4日（月）、11日（月）、18日（月）、25日（月）、28日（木）～31日（日）
1月の休館日	1日（月）～4日（木）、15日（月）、22日（月）、29日（月）、31日（水）
2月の休館日	【各館共通】5日（月）、19日（月）、26日（月）、28日（水） 【蔵書点検休館日】上の記事をご参照ください。

●年末年始の休館について

市内の図書館・図書室は、すべて12月28日（木）から1月4日（水）まで休館します。

なお、年末年始の休館中は施設のブックポストも閉鎖します。資料の返却ができませんので、ご注意ください。

●蔵書点検の休館について

蔵書点検中の休館日は、上の記事「蔵書点検のお知らせ」をご覧ください。

休館中の図書・雑誌の返却については、ブックポストをご利用ください。

紙芝居・CDやカセットテープなどの録音資料は、開館している図書館（図書室）にご返却ください。ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

☆図書館ホームページはこちら

袖ヶ浦市 図書館



で検索

または
QRコードから

